

ヨ

ハ

ス

受

難

曲

J.S.バッハ

Johann Sebastian Bach

甲府メサイア合唱団
第10回演奏会

日本語
字幕付き

2017.3.18 | 土 |

17:30開場 / 18:00開演

コラニー文化ホール 小ホール

入場料 3,000円 (学生割引あり)

指揮	依田 浩
福音史家 / アリア	大島 博 (テノール)
イエス	山下 浩司 (バス)
ペテロ / ピラト	新見 準平 (バス)
アリア	杉田 博子 (ソプラノ)
アリア	西川 裕子 (アルト)
チェロ	西沢 央子
ガンバ / リュート	福沢 宏
オルガン	能登 伊津子
チェンバロ	依田 和枝

合唱 甲府メサイア合唱団

演奏 ヴィッラ・ディ・ムジカ室内管弦楽団

主催 甲府メサイア合唱団

後援 山梨日日新聞社/山梨放送/テレビ山梨/
読売新聞甲府支局/毎日新聞甲府支局/
朝日新聞甲府総局/エフエム富士/FM甲府/
(株)日本ネットワークサービス/
山梨YMCA/山梨英和中学校・高等学校同窓会

お問い合わせ
Tel:055-252-8053 (代表 岡田能甫琉)
Mail:plus@yamanashi-stihl.co.jp

Johannes-Passion BWV245

ヨハネ受難曲

プロフィール

甲府メサイア合唱団

甲府メサイア合唱団代表

また甲府メサイア合唱団の演奏会が近づいてきました。皆様のご支援やご理解により、第10回目の公演を迎えることになりました。今年「J.S. バッハの大作『ヨハネ受難曲』の全曲演奏となります。2014年に初めてこの曲の演奏に取り組みました。これにて二度目の全曲上演ですが、いまさらながらこの曲の難しさや内容の厚さ、奥の深さにいつも目が覚める思いをいたしております。皆様にもぜひ私たちと『ヨハネ福音書による受難曲』のすばらしさを分かち合ってくださいと念願しております。

指揮

依田 浩



国立音楽大学卒業。在学中からアンサンブルに興味を持ち、器楽や声楽の伴奏、ピアノデュオなどの経験を積む。リートピアニストとして、また宗教曲の鍵盤奏者として幅広く活動。ピアニストとして合唱やオペラに関わっていくなかで指揮者としても場を広げる。甲府メサイア合唱団では創立当初から指導、指揮を執る。その指揮・指導力には定評があり、現在東京・山梨を中心にジュニアから大人まで多くの合唱団を指導する。JCDA日本合唱指揮者協会会員。山梨県芸術文化協会会員。21世紀の合唱を考える会「音楽樹」メンバー。

ソプラノ

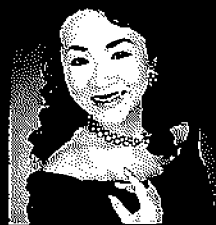
杉田 博子



ルト音楽大学教授、ロバート・ヒラー氏のもとで学ぶ。リート歌手として数多くの演奏会に出演。モーツァルト、シューベルト、シュトラウスを得意とする。日本歌曲も積極的に取り上げ、さらに英国歌曲やフランス歌曲も手がけ幅広いレパートリーを持ち魅力的な声とともに、その演奏は好評を博してきた。また宗教曲では、バッハやヘンデル作品のソリストとして、その様式をふまえた演奏には定評がある。オペラではモーツァルト作曲『フィガロの結婚』スザンナ、『魔笛』パパゲーナなどを演じている。07年3月、ウィーン楽友協会のインターナショナルコンサートにおいてシューマン等を演奏しウィーン聴衆を魅了した。09年11月ソウル・ソマン教会コンサートに、10年9月には韓国/全州でのジョイントリサイタル、11月にはソウル/セントラルシティ・ミレニアムコンサートに招かれる。13年12月、ソウル/ヨハンサンアートホールにてソウルN.S.オーケストラと共演等活躍の場を広げている。声楽を(故)中山操一、岡崎寛俊、永井和子の各氏に、リート演奏法をロバート・ヒラー氏に、(故)E.アンドレアス、C.ヒメル各氏に師事。日本声楽家協会会員。

アルト

西川 裕子



東京藝術大学声楽科卒業。同大学院オペラ科修了。安宅賞受賞。第54回読売新人演奏会、東京文化会館推薦音楽会に出演。第54回日本音楽コンクール声楽部門第3位。第10回ニッカ・カルメンシータ新人賞第1位。「フィガロの結婚」ケルビーノでオペラデビュー以後、二期会創立50周年記念公演「ニュルンベルクのマイスタージンガー」をはじめ数々のオペラ公演に出演。平成14年度文化庁芸術家在外派遣研究員としてドイツに留学。二期会会員。

テノール

大島 博



東京藝術大学卒業。同大学院博士課程修了。コンサート歌手として初期バロックから現代曲まで幅広いレパートリーを持ち、とりわけバッハ作品の演奏に定評がある。また、各地でドイツ・リート及び日本歌曲によるリサイタルを聞く他、1996年からは「ドイツ・リートのためのしほみ」と題したレクチャー・シリーズを継続中。合唱指揮者、発声指導者としても活動の場を広げている。立教大学大学院キリスト教学研究科特任教授。国立音楽大学、慶應義塾大学非常勤講師。

バス

新見 準平



東京藝術大学大学院修了。ウィーンにて学ぶ。声楽を宮本修、原田茂生、多田羅迪夫、福島明也、R.Döringの諸氏に師事。マスタークラスにてElly Ameling、Robert Hollのレッスンを受講。2009年東京労音「第九」にてデビュー。以後、国内外の音楽祭に出演。国際的な演奏家との共演を通して演奏経験を積んだ。東京、大阪、名古屋、福岡、大分、ウィーンにてリサイタルを聞く。また、バッハからオルフに至るまでのオラトリオのソリストとしても数多くの演奏会に出演。「フィガロの結婚」「魔笛」「ドンジョヴァンニ」「愛の妙薬」「トスカ」「アンドレアシェニエ」「カルメン」「こうもり」「電話」などのオペラにも出演している。現在、九州を拠点に国内外で充実した演奏活動を繰り広げている。2012年ソレイユ音楽コンクール1位。2013年日本演奏連盟新進演奏家奨励賞。第32回飯塚新人音楽コンクール2位。2014年松方ホール音楽奨励賞。市川市新人演奏家コンクール最優秀賞。Ljuba Welitsch国際声楽コンクール(オーストリア)男声2位。2015年第19回日本モーツァルト音楽コンクール第1位。大分二期会会員。大分県立芸術緑丘高等学校非常勤講師。大分県立芸術文化短期大学演奏員。

バスバリトン

山下 浩司



山梨県笛吹市石和町出身。国立音楽大学卒業。同大学院大学院歌曲専攻修了。その後ザルツブルク及び、ウィーン国立音楽大学にて研鑽を積む。オペラでは東京二期会、サイトウキネン・フェスティバル松本、小澤征爾音楽塾プロジェクト特別演奏会、東京のオペラの森、東京・春・音楽祭、新国立劇場、日生劇場、東京二期会・神奈川県民ホール・びわ湖ホールの共催オペラ等、次々と注目の公演に出演を重ねる。宗教曲およびコンサートのソリストとしても全国各地で活躍している。2014年度は国立音楽大学長期国外研究員として一年間ニューヨークで研究活動をした。「ふくよかな響きの5人組」として注目されているユニットIL DEVUのメンバー。日本コロムビアから2枚のCDを発売中。国立音楽大学准教授。二期会会員。

ヴァイラ・ティムジカ室内管弦楽団

東京及び近県で活躍するメンバーによる室内管弦楽団。古典から現代に至るまでの管弦楽作品に取り組み、音楽の魅力をユニークな手法で聴衆に伝えるために結成された演奏団体。2009年よりスタートしたオペラプロジェクトではモーツァルトの「フィガロの結婚」「ドン・ジョヴァンニ」「コジ・ファン・トゥッテ」を取り上げ、2012年はロッセーニ「セビリヤの理髪師」を上演、2014年は新しい演出で「フィガロの結婚」の再演をし、いずれも好評を博している。甲府メサイア合唱団とは2010年以降、メサイア全曲公演などでたびたび共演している。